

「第12回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等 文部科学大臣表彰式」について

1 表彰式

- 平成31年1月18日（金） 10:30～11:30 国立オリンピック記念青少年総合センター

2 表彰の趣旨

- 文部科学省が、学校、家庭、地域、産業界が一体となって社会全体でキャリア教育を推進していこうとする気運を高め、キャリア教育の意義の普及・啓発と推進に資することを目的として、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる学校等を表彰する。

3 今年度の受賞団体

- 教育委員会の部12団体、学校の部97団体、PTA団体等の部10団体が表彰。
- 茨城県からは、学校の部で、美浦村立木原小学校、下妻市立下妻中学校、県立那珂湊高校の3校が受賞。
- 文部科学省初等中等教育局児童生徒課の大濱健志課長が学校長等に表彰状を手交。

4 茨城県の受賞校の取り組み

【美浦村立木原小学校】

- 生徒が自分たちで設立した「キッズ☆カンパニー」を通して、「商品の選定、販売、納税」を行う起業体験活動を行った。地元の農産加工品、特産物を商品として、美浦村商工課青年部の協力のもと地域イベントで販売。6年生を社長、経理部、第一営業部、第二営業部の4つのグループに分けて、部長職を設け、児童が責任を持って、協力して活動に取り組んだ。

【下妻市立下妻中学校】

- 中学校3年間で「社会への入り口」ととらえ、生徒が自分自身の適性を理解する大切な時期として、系統的な学習活動に取り組んだ。第1学年では、学級ごとに会社を設立し、下妻市のイベントで飲食店を出店。生徒が役割分担して自分の適性を確認して、年度末の「職業人に学ぶ会」につなげている。第2学年では、職場体験学習や立志の集いの企画・運営を行う。立志記念の約25kmを歩く「下妻街道歩く会」では、郷土の良さを理解する機会となっている。また、立志の集いでは、将来の夢を宣言している。第3学年では、「アクションプラン」と題し、自分たちができる地域貢献を考えて行動する。数年間の取り組みには、老人ホーム、特別支援学校、独居老人宅の訪問がある。

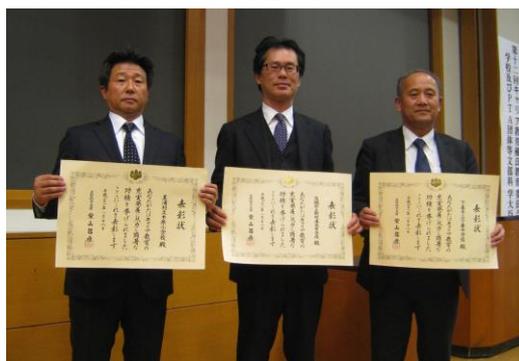
【県立那珂湊高校】

- 授業で、生徒が主体的に商品開発をプロデュース。また、実践的な体験を通して、創造性を育む取り組みを積極的に行い、地域活性化に取り組んでいる。①企業と共同して、味やパッケージデザインなどを考案し、ペットボトル炭酸飲料を商品化、自動販売機のラッピングもあわせて提案。②地産地消の商品開発を企業に提案し、特産のさつまいもを原材料としたジェラートを商品化。③地元商店街のイベントで販売体験。④起業ビジネス科3年生全員が、地元企業などで年17日間のデュアルシステムを実施。⑤ひたちなか市準公認キャラクター「みなとちゃん」の開発。

写真1 表彰式の様子



写真2 受賞校の校長先生方



木原小（田組校長）、那珂湊高（鈴木校長）、下妻中（鈴木校長）